

Makuhari's Memory

絆が大きな財産!未来を変える5日間

令和7年5月19日から23日の5日間で「人権を尊重した地域社会の形成～ハラスメントのない社会をめざして～」を受講しました。最近では国際情勢の悪化、国内各地での事故、事件の増加といった不幸な出来事が続き、改めて人権について研修を受講できたことは、非常に幸運で勉強になるものでした。

市町村アカデミーの皆様、受講生の皆さん、快く送り出してくれた職場の皆様のおかげで無事に5日間を過ごすことができ、心から感謝しています。

研修では、法務省職員や人権問題を研究している大学教授など最前線で活躍する講師の方々が興味深い講義をしていただき、最新の情報や新たな気づきを得ることができました。特に「SDGsといえば人権」ということで改めて人権が国際基準のものであることを認識し、人権に携わる自治体職員として気持ちを引き締めました。また、グループで取り組む課題演習においては、普段の業務で感じていることや悩みを話し合いながら課題を設定し、解決策に

向けて夜遅くまで連日議論を交わしました。課題演習は、講義での知識が解決策のヒントとなっていて、講義の役割を痛感するものでした。

最後にこの研修で得たものは、同じ志を持つ仲間です。つらいとき、大変なときに頼ることができる仲間が全国にいることが大きな安心感をもたらします。市町村アカデミーでの研修は終わりましたが、引き続き、素晴らしい財産である「絆」を育てていきたいと思っています。



山内 一生

埼玉県宮代町
総務課人権推進室 室長
(受講研修科目)

人権を尊重した地域社会の形成～ハラスメントのない社会をめざして～
第39期第1組 (令和7年度)

共通の課題を演習で解決!仲間とのご縁に感謝

今回、私たちは令和7年5月26日から30日までの5日間、「情報公開と個人情報保護」研修を受講し、大変多い時間を過ごすことができました。

今回の研修では、大学教授や弁護士といった各分野の第一線でご活躍されている講師陣から、情報公開制度や個人情報保護制度に関する専門的かつ実践的な知識を学ぶことができました。複雑な法制度についても、具体的な事例を交えながら分かりやすく解説していただき、深く理解することができたと実感しています。講師の皆様には心より感謝申し上げます。

また、この研修で特に印象に残っているのは、仲間と共に取り組んだ充実した課題演習です。この演習では、各自治体が抱える具体的な課題や悩みを班ごとに持ち寄り、活発に意見交換を行いながら、解決策を探るプレゼン資料を作成しました。時には夜遅くまで議論を重ねることもありましたが、多様なバックグラウンドを持つ受講生同士で知恵を出し合

い、一つのものを作り上げる過程は、非常に刺激的で、自身の視野を大きく広げる貴重な機会となりました。

最後に、この5日間研修に集中できる環境を整えてくださったアカデミー事務局の皆様、縁あって共に学び、支え合った50名の受講生の仲間たち、そして快く研修へと出してくれた職場の仲間には、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも共に情報交換しながら、今回の研修で得た知識と経験を、それぞれの業務に活かし、適正な情報公開と個人情報保護に貢献できるよう精進してまいります。



井汲 義晃

栃木県足利市
行政経営部デジタル戦略課長
(受講研修科目)

情報公開と個人情報保護
第39期第1組 (令和7年度)

Makuhari's Memory

充実の5日間!学びを実践へ!

令和7年5月26日から30日の5日にわたり、「ナッジ等を活用した政策イノベーション」研修を受講しました。

自分が受講したきっかけは、ナッジは汎用性の高いツールとして特定の分野に留まらず、様々な分野の政策に活用できるもので、自治体職員の基礎能力として継続的に使用できると思ったからです。

研修では、学問として研究をされている大学教授の講義や全国の自治体でナッジを活用して政策を行っている先駆者の方々の非常に貴重な講義が行われました。先進自治体の経験・知識についての講義から即活用できる内容を教示いただき、とても有意義な時間でした。講師の中には市町村アカデミーでナッジを学び、自治体に持ち帰ってナッジユニットを立ち上げ、実践をした先輩もおられ、行動力の高さに圧倒されました。

この研修の特徴としては、これまで受けてきた研修と違い、同じ業務を中心とした

ものではなく、比較的どの業務にも用いることができ、即実践可能な知識や経験が詰まったものでした。

受講した仲間達は、様々な部署の職員がいて、今回の研修以降職場の異動があっても自治体職員の仲間として交流を続けていける関係になれたと思っています。

今回の経験が自治体職員としての自分に大きくプラスであったことは間違いありません。行政職員なら誰でも活用ができる「ナッジ」、全国の皆さんも学んで業務にいかしてみませんか。



長野 陽介

島根県大田市
教育部学事・魅力化推進室 主任
(受講研修科目)
「ナッジ等を活用した政策イノベーション」
第39期1組 (令和7年度)

共に学び、共に歩む。地域と防災への誓い

この5日間の宿泊研修は、防災に関する知見を深めるだけでなく、同じ志を持つ仲間と出会い、学び合う非常に有意義な時間でした。全国から集まった38名の受講生と共に、グループワークを通じて課題を共有し、議論を重ねる中で、改めて防災業務の重要さと、自らの責務を痛感しました。少人数でのディスカッションは、それぞれの自治体が抱える課題の多様性を知る機会となり、互いに知恵を出し合うことの価値を再確認しました。

また、災害対策基本法の改正により、災害対応の強化として人員体制の拡充や、被災者に対する福祉的支援等の充実が進められるなど、地方自治体の防災体制が一層強化される展望に触れ、目の前の業務への覚悟を新たにしました。これらの制度改革は、災害時の意思決定の迅速化や、よりきめ細やかな支援体制の整備につながり、最終的には市民の安全と安心に還元される大きな力になると確信しています。

最後になりますが、講師の皆様の実践的な講義や、運営スタッフの温かい支援、そして共に学んだ仲間た

ちに深く感謝申し上げます。

ここで得た知識と刺激を糧に、市長をはじめ市役所全体を巻き込みながら、防災担当部局だけでなく全ての部署、全ての人を結ぶ「核」となって地域を支えていく覚悟です。受講生全員の胸に宿った熱い想いが、やがて私たちの地域を守る強固な盾となり、いつの日か起きてしまった災害時には、災禍を越えて人々の心を燈す優しい希望の光となれるよう、日々の業務に邁進します。



松本 英晴

埼玉県川口市
川口市南消防署青木分署 分署長
補佐兼係長
(受講研修科目)
「災害に強い地域づくりと危機管理①」
第39期第1組 (令和7年度)